

令和8年7月31日

お知らせ

担当課：後樂園事務所 担当：川井、近藤 直通：086-272-1166

岡山後樂園オリジナル「御庭印（おにわいん）」を販売します！

岡山後樂園では、このたび、来園の記念となる「御庭印（おにわいん）」を制作の上、次のとおり販売しますので、お知らせします。

なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概要

「御庭印（おにわいん）」は、神社やお寺に参拝した証である「御朱印」や、お城の登城記念となる「御城印」の庭園版にあたるもので、庭園に来訪した際の記念証です。岡山後樂園では、今年5月にタンチョウのヒナが2羽誕生したことを記念し、タンチョウのデザインを取り入れたオリジナルの「御庭印」を制作の上、数量限定で販売することとしました。

2 販売日時

令和8年8月8日（土） 18:00～（夏の幻想庭園開催時間中）

3 販売価格

1枚 300円

4 販売数

限定 300枚

5 販売場所

園内特設売場（鶴鳴館本館玄関付近）

6 今後の販売予定

令和9年1月1日（金・祝） 初春祭

3月2日（火） 開園記念日

なお、上記以外の販売日は未定ですが、販売を行う場合は、岡山後樂園ホームページでお知らせします。

御庭印



解説

岡山後楽園は約三百年前、岡山藩主池田綱政がつくらせた庭園で、歴代藩主のやすらぎの場となりました。

明治十七年（一八八四）、池田家から岡山県に譲渡されて一般公開が始まり、明治中期の山陽鉄道開通とともに全国から大勢の人々が訪れました。明治三十三年の絵葉書の発行以後、手軽な手土産として人気を博し、やがて各地で記念スタンプが登場します。後楽園は「鶴がいるお庭」として有名だったため、タンチョウをデザインに取り入れたものが数多くつくられたようです。

この御庭印は、明治末期から大正初期の記念スタンプから選んだもので、どの印にも鶴がデザインされています。

また、今は金沢・兼六園、水戸・偕楽園、岡山・後楽園は、「日本三名園」として知られていますが、大名庭園の多くは公園として公開されたため、並び称された当初は「日本三公園」だったことがわかります。

小さな印が近代の歩みを物語っています。



明治末期頃の後楽園 鶴をデザインした「岡山後楽園遊覧記念」の印
（岡山県郷土文化財団所蔵）